

- 新日軽の製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。
- 正しい施工をしていただくため当説明書をお読みください。
- 施工完了後はお施主様へお渡しください。

この手引き書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。
	「必ず行っていただくこと」を示しています。

## ■ 注意事項 施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硫酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- ⑥腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑦外開きタイプでは開閉時に扉が公道（道路面）等へ飛び出さない位置に設置してください。
- ⑧電装商品の場合は配線工事を有資格の専門業者にご依頼ください。
- ⑨施工完了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合が無いが確認してください。

## ● ご使用上の注意とお願い

-  **注意** ●通常使用されない場合は必ず施錠してください。  
また、落とし棒の付いている商品は落とし棒も同時に下ろしてください。
-  **注意** ●開閉時には手足・衣服などを挟まないよう、注意してください。
-  **注意** ●扉に物を載せないでください。
-  **注意** ●扉を揺すったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
-  ●開閉操作はゆっくり行ってください。  
急激な操作は思わぬ事故やけがにつながります。
-  ●年に1回、ネジやボルトのゆるみがないか、確認してください。



## ● 梱包明細

名称	梱包内容	
標準扉	本体1枚(落し錠付)、戸当り1本、框キャップセット、落し受けセット	
吊り元扉	本体1枚(落し錠付)、框キャップセット、落し受けセット、戸当りバンパーセット、ちり隠しセット	
門柱式	片開き門柱	戸当り門柱1本、門柱(キャップ付)1本、戸当り1本、ヒンジセット、取付マニュアル、門柱キャップセット
	両開き門柱	門柱(キャップ付)2本、ヒンジセット、取付けマニュアル
	吊り元用門柱	門柱(キャップ付)2本、ヒンジセット、取付けマニュアル
直付調整ヒンジ(両開き用)	ヒンジセット、取付マニュアル	
吊り元カバー	吊り元カバー1本	

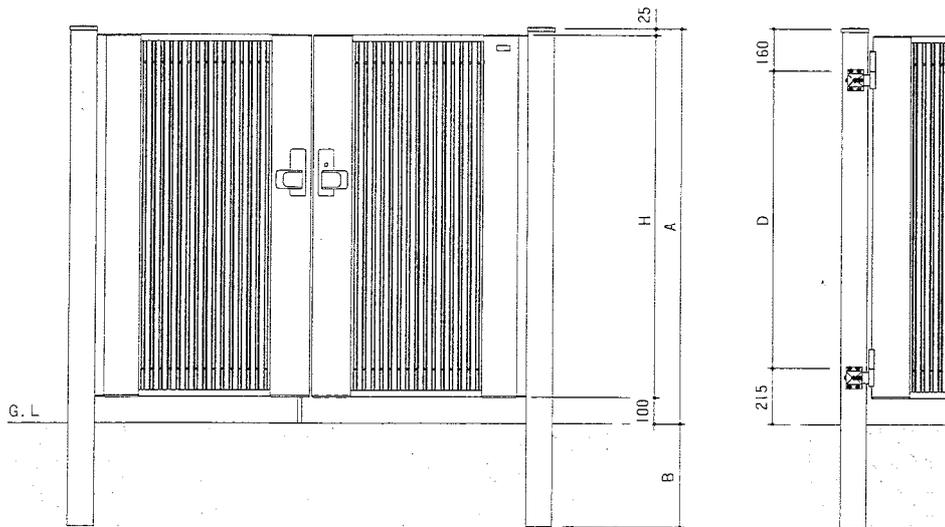
# 門扉納まり図

## ■門柱納まり

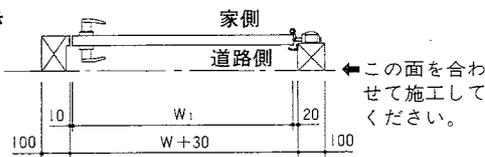
外観図

内観図

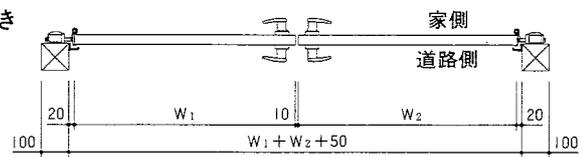
本図は右勝手、内開きの納まりです。  
外開き納まりの場合、吊元カバーは付きません。



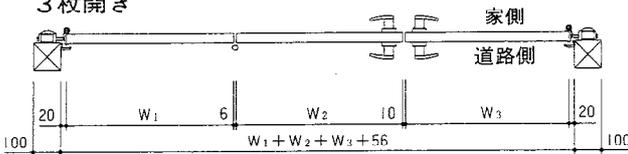
片開き



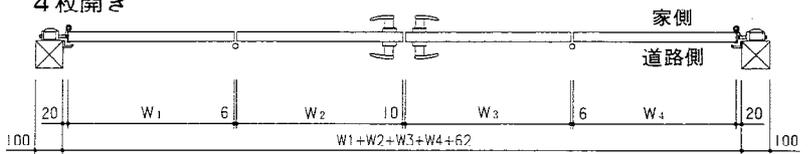
両開き



3枚開き

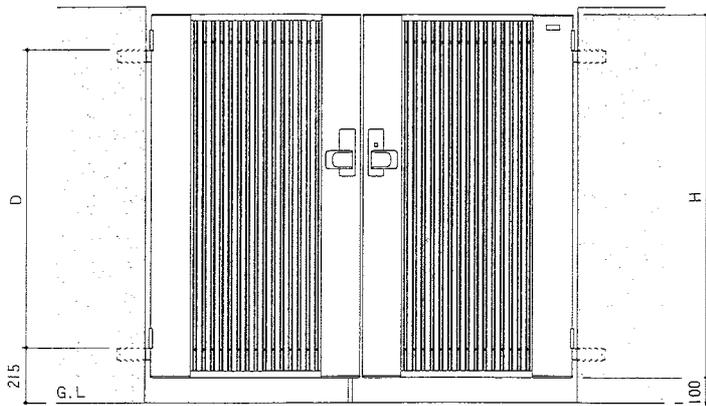


4枚開き



## ■調整式直付納まり

外観図

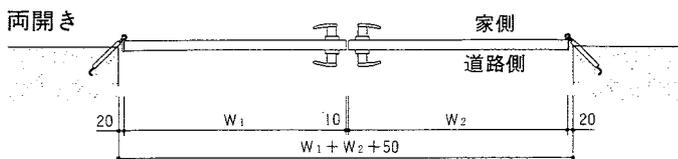


区分	H	A	B	D
片・両開き (100角柱)	1200	1325	300	950
	1400	1525	400	1150
	1600	1725	400	1350
3・4枚開き (100角柱)	1400	1525	400	1150
	1600	1725	400	1350

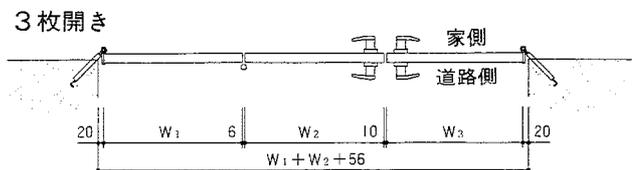
※本表は、門柱納まり調整式直付納まり兼用です。

※調整式直付納まりは片開きは出来ません。

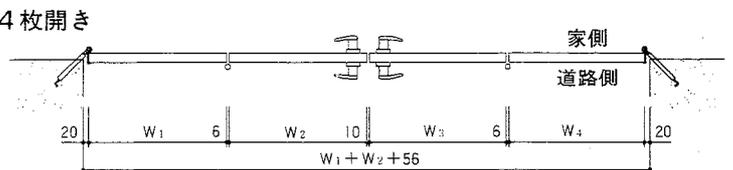
両開き



3枚開き



4枚開き



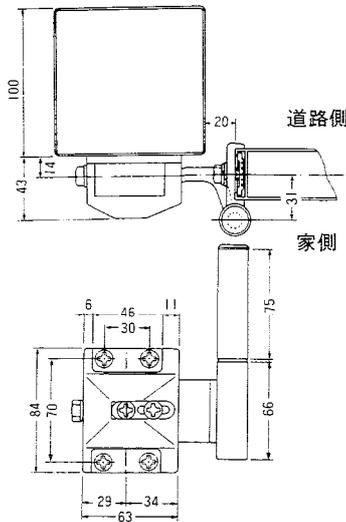
## ■ 勝手区分の読み方

勝手区分	新まり区分	片開き納まり時	両開き納まり時
内開き時	右勝手 (R)	(家側) 	(家側) 
	左勝手 (L)	(家側) 	(家側) 
外開き時	右勝手 (R)	(家側) 	(家側) 
	左勝手 (L)	(家側) 	(家側) 

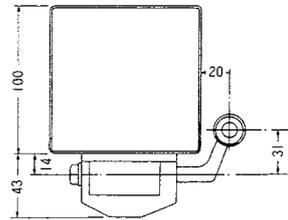
## ● 門柱の施工上のご注意

- ・ 門柱は内開き、外開き兼用です。  
ヒンジが家側にくる様に門柱を施工してください。
- ・ 門柱は右勝手、左勝手兼用です。  
勝手区分の読み方を参照して、門柱の向きを決めてください。

ヒンジ(内開き用取付け)

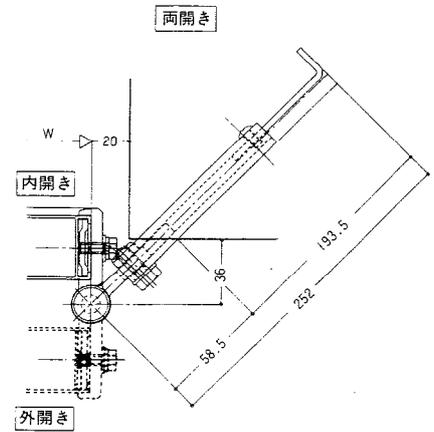


ヒンジ(外開き用取付け)



- ヒンジが門扉の外側に向くようにヒンジツボを取付け、持ち送りも外側に向くように取付けると外開きになります。

直付調整式ヒンジ



## ● 施工順序

### ■ ヒンジ組み替え方法

	内開き	外開き
両開き	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 梱包セット (組立状態) のまま門柱に取付けてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持送りを外し (逆向き) に組み替えてください。(内開き時、右用が外開き時、左用になります。)</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①調整用ビスをはずす</li> <li>②固定用ビスをゆるめる</li> <li>③ボルトをゆるめる</li> <li>①調整用ビスを締める</li> <li>②固定用ビスを締める</li> <li>③ボルトを締める</li> </ol>
片開き	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 左右勝手に合わせてシャフトを固定してください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 持送りを外し、逆向きに組み替えてください。</li> <li>● 左右勝手に合わせて、シャフトを固定してください。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①調整用ビスをはずす</li> <li>②固定用ビスをゆるめる</li> <li>③ボルトをゆるめる</li> <li>①ビスを締めつける</li> <li>③調整用ビスを締める</li> <li>②ボルトを締める</li> <li>④固定用ビスを締める</li> </ol>

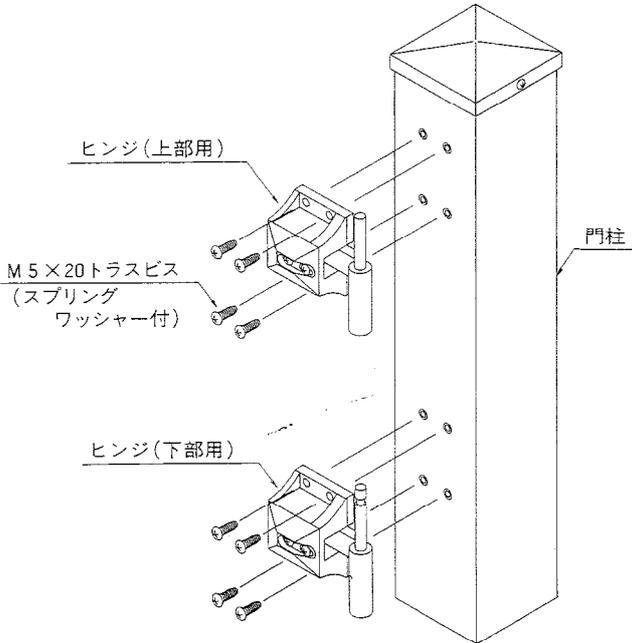
### 1 ヒンジの組み替え

- ・ ヒンジは内開き、外開き兼用です。  
梱包時は内開き仕様になっていますので、外開きの場合は左表を参照してヒンジの組み替えを行ってください。
- ・ ヒンジは右勝手、左勝手兼用です。  
片開きの場合は左表を参照してシャフトを固定してください。

## 2 門柱の施工

- ・勝手区分の読み方を参照し、ヒンジの向きに注意してヒンジを門柱に取付けてください。

※ヒンジには上部用と下部用があります。  
下図を参照して取付けてください。



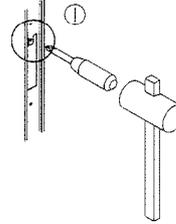
## 〔片開きの場合〕 戸当り門柱の組立て

- ・勝手区分の読み方を参照し、戸当り門柱及び戸当りの向きを決め右図の様に部品を取付けてください。

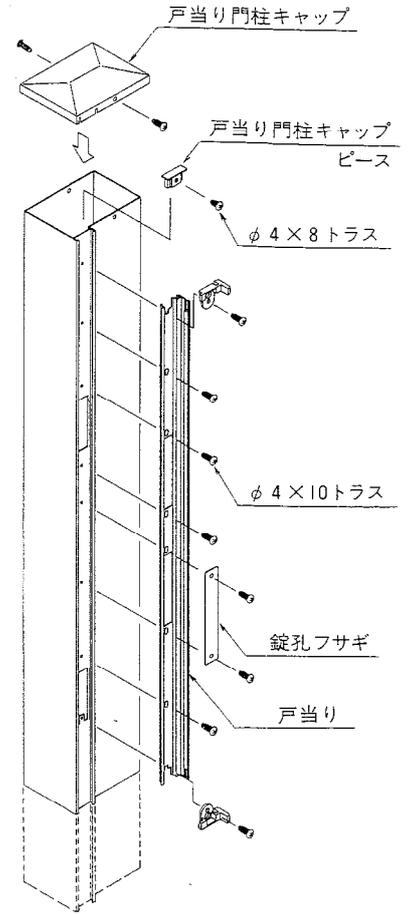
### お願い

- ①戸当り取付後、錠取付部の角孔部にでっぱりが残ります。

錠のストライクを取付時にさまたげとなりますので、右図の要領で取ってください。

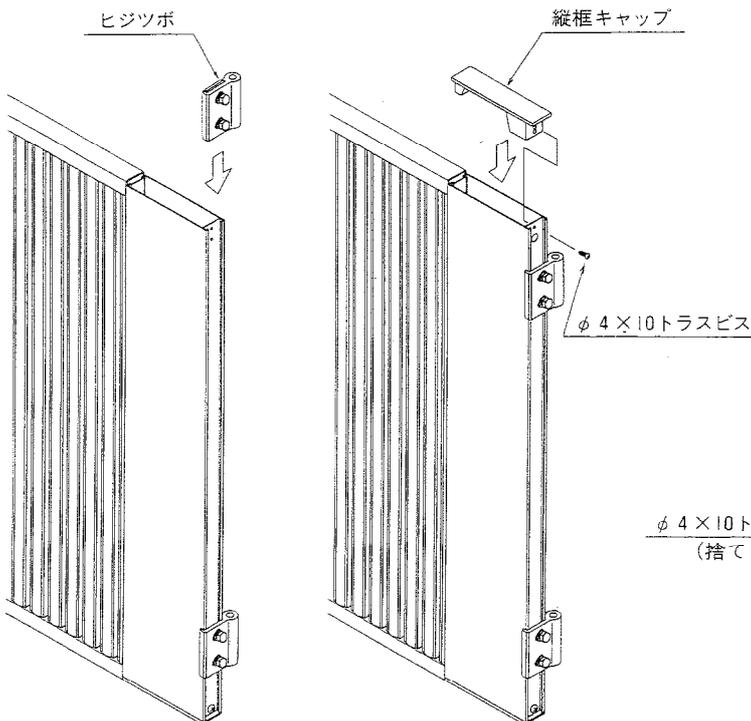


- ②戸当り門柱は上下対称です。よってGLシールを上下に貼っていますので、上部の不要なシールをはがしてください。



門柱に部品を取付けた後、門扉納まり図を参照して門柱の埋込み位置を確認し、施工してください。

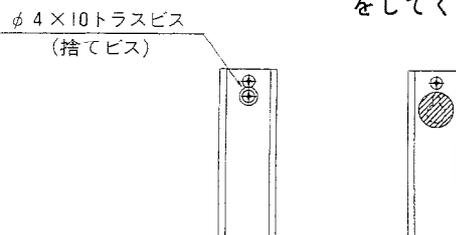
## 3 ヒジツボ及び縦枠キャップの取付け



- ・前ページを参照してヒジツボの方向を決め、門扉の吊元側上部よりヒジツボをスライドさせ、取付けてください。

- ・ヒジツボ取付後、縦枠キャップを門扉に取付けてください。

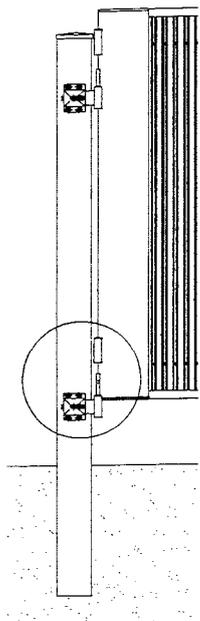
※キャップ取付け時、  
1, 2型には下図の様に捨てビスをしてください。



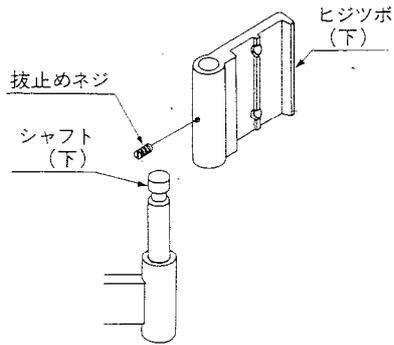
1 型, 2 型

3 型, 4 型

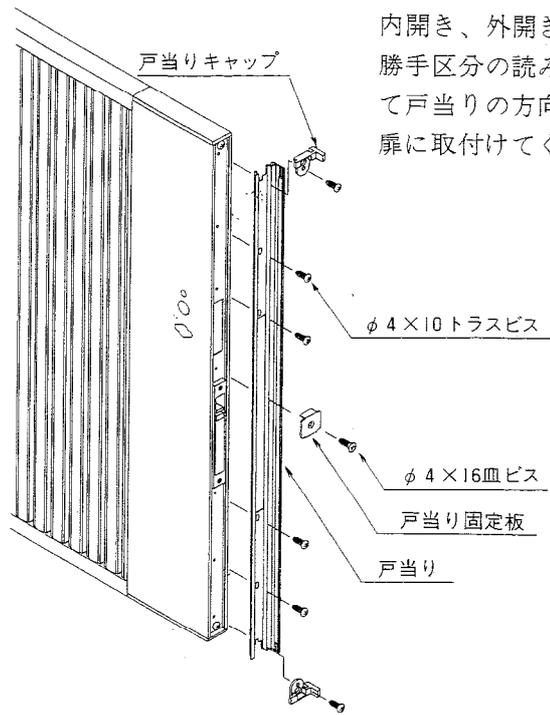
## 4 門扉の吊り込み



- ・左図の様に門扉を吊り込んだ後、下のヒジツボに抜け止めの為のネジを取付けてください。
- ・取付後、ヒジツボにキャップを取付けてください。



## 5 戸当りの取付け

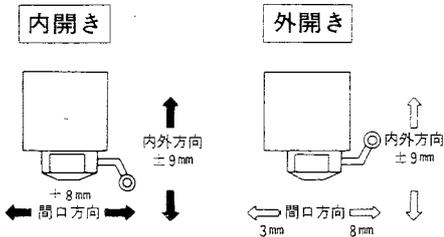


- ・戸当りは右勝手、左勝手、内開き、外開き共兼用です。勝手区分の読み方を参照して戸当りの方向を決め、内扉に取付けてください。

## 6 門扉のチリ寸法の調整

### ヒンジ調整方法

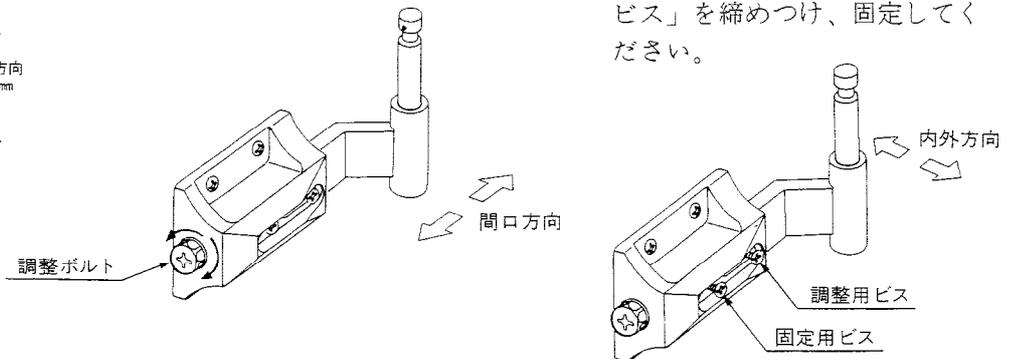
#### 調整範囲



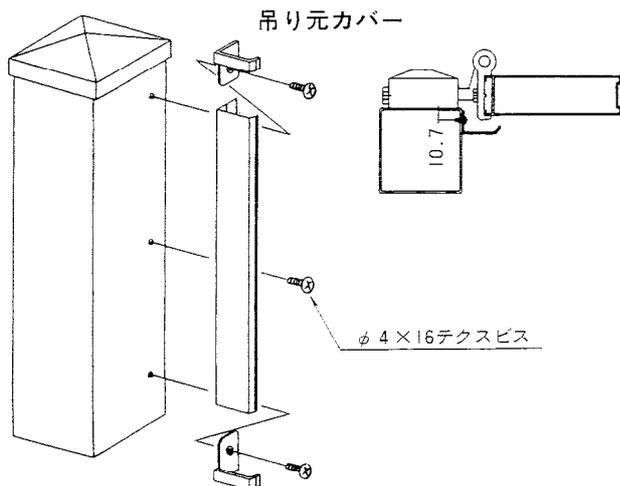
#### 調整順序

- ①まず、「固定用ビス」をゆるめ、「調整ボルト」をまわし、「間口寸法」を決めてください。

- ②次に、「調整用ビス」をまわし、「内外寸法」を決めてください。寸法が決まりましたら、「固定用ビス」を締めつけ、固定してください。



## 7 吊り元カバーの取付け



- ・門扉の吊込み後、門扉の高さに合わせて吊り元カバーを門柱に取付けてください。

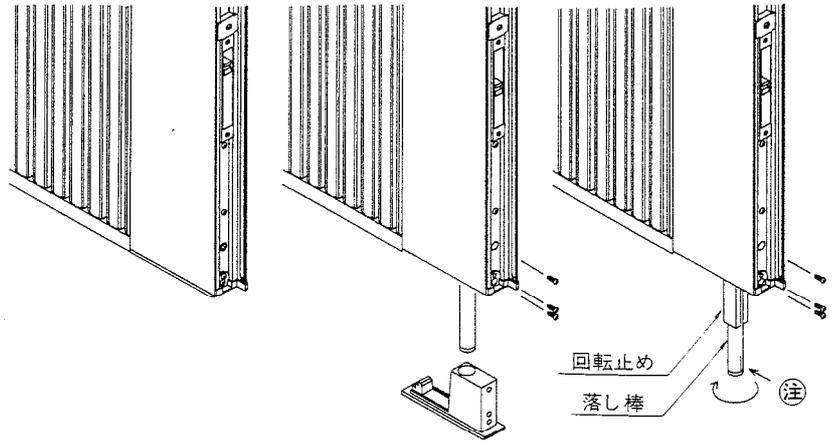
※取付用のビスはテクスビスを使用しています。門柱に止めづらい時は、吊元カバーの孔位置に合わせて門柱に下孔φ3.5を明けてください。

注) 外開き納まりには取付け出来ません。

## 8 落とし棒の長さ調整

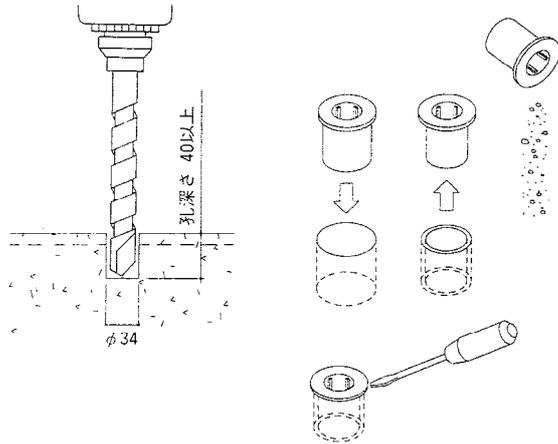
- ・門扉縦框下端からGLまでの寸法が100mm（標準納まり）の場合、落とし棒の長さ調整の必要はありません。出荷時に調整済です。

※本落とし錠は足長落としにも使用できます。  
 出荷時に門扉縦框下部～GLまでの寸法が60mm、100mm、130mm、180mmの位置で調整済です。その他の微調整は右図の様に縦框キャップをはずし、調整してください。  
 注) 調整後は必ず落とし棒についている線を右図の位置に合わせてください。

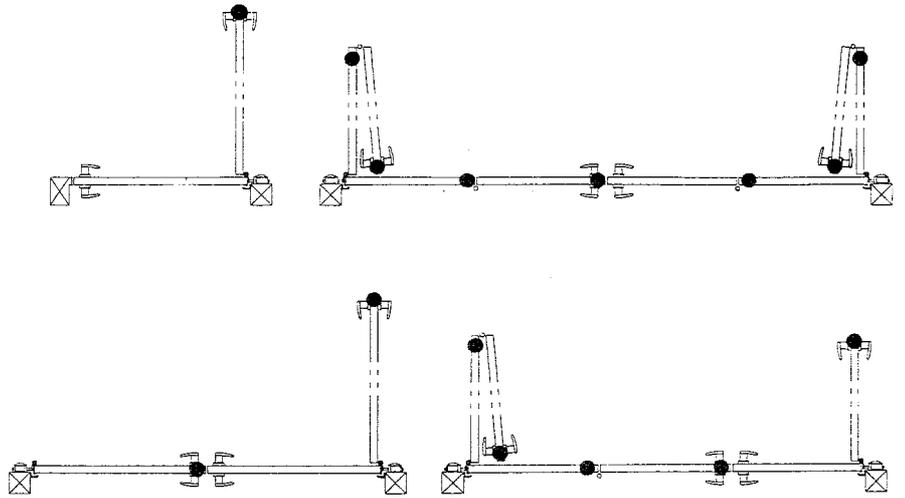


## 9 落とし受の埋込みとメンテナンス

- ・落とし棒の位置に合わせてφ34の孔を明け、落とし受けを埋め込んでください。
- ※砂、ゴミ等は下図の様に捨てられます。



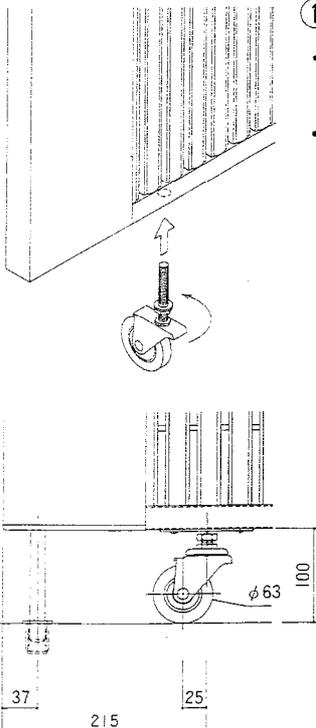
- ・落とし受けは門扉の開き勝手に応じて、●印の位置に埋め込んでください。（本図は右勝手内開きです）



## ● 門扉を3, 4枚開きで施工される場合

### ① キャスターの取付け

- ・吊元扉にはキャスターを必ず取付けてください。
- ・下図の様に下明きが100mmになる様に高さ調整後、ナットにて確実に固定してください。



### ② チリ隠し・戸当りバンパーの取付け

- ・吊元扉には、チリ隠しの裏板が仮止めされています。右図を参照してチリ隠しを取付けてください。
  - ・吊元扉の吊元側縦框には、戸当りバンパーの裏板が仮止めされています。左図を参照して戸当りバンパーを取付けてください。
- (バンパーは、標準扉の開き勝手によって取付け向きが異なりますのでご注意ください)

